

本時のねらい

- ・読者の立場にたって、自分が作る新聞（社会見学）の割付を考えることができる。
- ・学級の友だちが作成した新聞の割付を参考にして、自分の割付を読者にわかるように工夫することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・オクリンク上で記事を動かすことで、どうすれば新聞読者が見やすいかを試行錯誤しながら考えることができる。
- ・オクリンク上でそれぞれの割付を共有することで、読者に伝えるための工夫に気付き、自分の割付をより良いものにすることができる。
- ・Googleドライブ上で、撮影してきた社会見学の画像を共有することで、記事に適切な画像を選ぶことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンク）
- ・大型モニター
- ・Googleドライブ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (12分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認する。 	
	めあて 目的に合ったわりつけを考えよう	
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した小学生新聞の工夫をふりかえる。 ・工夫をふまえ、新聞名と位置を決める【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・端末上で操作することで、何度も試行錯誤できる。 ・まずは、新聞名の位置を決めることだけに絞る、操作の仕方をつかむ
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット上で、記事の割付を考える。【写真2】 ・割付が完成した児童はオクリンクの提出BOXへ送信する。 ・提出BOXにある友だちの割付を見て、友だちの割付の良さや工夫を発表する。 ・友だちの割付を参考に、再度自分の割付を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記事ごとに色分けし、配置について考える。 ・割付の配置が進んでいない児童には、複数ある記事から3つに絞ることのできるヒントカードをオクリンク内に送る。 ・簡単に共有できるので、友だちの割付を参考にしたり、工夫を見つけたりすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の割付の工夫を発表する。 ・今日の学習を踏まえて、休み時間や家庭学習で、自分が納得いくまで、割付について考え、仕上げる。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の割付を簡単に共有することで、すぐに自分の工夫や頑張りを発表することができる。 ・友だちの割付をいつでも見られるようにしておくことで、友だちの考えを参考にして考えたい児童の助けとなる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】自分の書いた記事にあう新聞名を考え、新聞のどこに配置するか考える場面



【写真2】記事ごとに色分けをし、自分の書いた記事が読者に伝わるような割付を考える場面



【写真3】友だちの割付や工夫を知り、自分の割付を見つめ、よりよいものにしようとする場面

児童生徒の反応や変容

- ・何度も書き直す必要がなく、思うように、記事の大きさ・位置を変えられるため、割付を考えることだけに集中できた。
- ・試行錯誤する中で、自分が一生懸命考えた割付をもとに新聞を作りたいという気持ちが芽生え、今後の学習への意欲も高まった。
- ・割付を共有したことで、読者の視点で割付を見ることができ、新聞の割付はもちろん、記事の書き方も変容し、わかりやすい新聞になった。
- ・友だちの割付がいつでも見られることから、休み時間や家庭学習の時間でも、取り組む姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・割付イメージをタブレット端末で可視化して、すべての児童が新聞づくりに取り組みやすいように工夫した。
- ・新聞の割付を決める際には、児童自身たくさん伝えたい気持ちがあるために記事の数を増やしたが、ヒントカードで記事の数を絞ることで、自分の中で何を伝えたいのかを整理させることができた。
- ・タブレット上で操作することで、記事の大きさや場所を何度も考え直すことができた。